

令和2年度第10回大学運営連絡会議事要旨

日時	令和3年2月16日(火) 10時30分～11時54分
場所	Web会議
出席者	学長、渡理事、山下理事、寺本理事、岩本副学長・全学教育機構長、山崎副学長・事務局長、佐々木監事、板橋教育学部長、吉住芸術地域デザイン学部長、榎澤経済学部長、末岡医学部長、豊田理工学部長、小林農学部長、山下附属病院長、大島附属図書館長、高椋総合分析実験センター長
欠席者	なし
陪席者	鯉川学長補佐、倉岡学長補佐、小野学長補佐、早瀬学長補佐、後藤学長補佐、三島学長補佐、石松学長補佐、平部学長補佐、只木学長補佐、上田学長補佐、田中学長補佐、西郡学長補佐、吉永学長補佐、伊藤地域学歴史文化研究センター長、池上海洋エネルギー研究センター長、郭シンクロトン光応用研究センター長、矢田肥前セラミック研究センター長

○ 学長より、令和2年度第9回大学運営連絡会議事要旨の確認依頼があった。

【 報告・連絡事項 】

(1) 第4期中期目標・中期計画に係る国の議論の進捗について

渡理事より、第4期中期目標・中期計画策定に向けて、文部科学省等において様々な議論が行われており、その取りまとめとして、第4期中期目標期間における国立大学法人中期目標大綱(素案)が示された旨、この大綱の趣旨に沿い、更に大学の強みや特色を反映させた中期計画を策定しなければならない旨の説明があった。また、地方創生に資する魅力ある地方大学の実現に向けた検討会議において、大学が淘汰される近い未来、地方大学を元気にするための最後のチャンスかもしれないことに言及しており、このことを2月の拡大役員懇談会で紹介したところ、委員より、ネガティブにとらえるのではなく、チャンスに変えていくべきであるという意見があった旨、報告があった。

次いで、西郡学長補佐より、大学淘汰の背景として、18歳人口の減少が挙げられており、18歳人口の将来推計及びそれに伴った本学の個別試験のシミュレーションを基に考えられる問題点等について説明があった。

学長より、18歳人口について、コロナ禍において出生率が激減しており、2038年の18歳人口は、現在の推計より更に減少することが想定されている旨、各部局長においては、地方創生に資する魅力ある地方大学の実現に向けた検討会議の内容を確認いただきたい旨の発言があ

った。

- (2) 令和3年度国立大学法人佐賀大学運営費交付金予定額（政府案）等の概要について

財務課長より，文部科学省より，令和3年度国立大学法人佐賀大学の運営費交付金予定額（政府案）が提示された旨，運営費交付金の概要及び主な増減要因，成果を中心とする実績状況に基づく配分の内訳等について，説明があった。

- (3) 「佐賀大 Press」（ホームページ）の公開について

西郡アドミッションセンター長より，コロナ禍における佐賀大学の現状や取組を発信することを目的として，「佐賀大 Press」を立ち上げた旨，教職員や学生，各部局等における取組について，積極的に情報発信をしていきたいことから，各部局長にも協力いただきたい旨の説明があった。

- (4) 令和2年度標的型攻撃メール訓練実施結果について

只木総合情報基盤センター副センター長より，昨年11月から12月にかけて標的型攻撃メール対応訓練を実施し，その結果について，報告があった。また，標的型攻撃メールの特徴について説明があり，この特徴に該当するメールには対応しないよう注意喚起があった。

【 各学部等からの報告・連絡事項 】

- (1) 活動現況等について月例報告

前回の大学運営連絡会において，西郡IR室長より，キャンパスソーシャルワーカー等への相談件数が増加しており，相談内容の分析が必要と説明があった際，学部長に相談内容の情報提供をしてもらいたい旨の意見があった。このことについて，山下理事より，キャンパスソーシャルワーカーへの相談内容について，相談窓口から学部長へ情報共有することは，個人情報管理上適切ではないと判断し，学部長からチューター等の担当教員を通じて，学生の状況を把握いただきたい旨，また，今月の報告から，当月の相談件数に加え，大まかな相談内容について，別途記載するように対応した旨，説明があった。

西郡IR室長から，月例データの分析に基づく気づき事項について，説明があり，次いで，各部局長から，前回の気づき事項への対応を含む月例報告があった。

- (2) その他
特になし

【 その他 】

特になし

以 上